



はらだ 原田てつよ議員

休校中の島しょ部の学校の今後と校舎の利活用について問う



議員 現在、六島小学校1名、北木小学校5名、真鍋中学校4名であり、白石小・中学校、北木中学校、真鍋小学校は休校中である。

①休校中であっても、地域・保護者の希望によっては再開の可能性はあるのか。

②休校中の校舎の利活用の検討時期はいつか。真鍋中学校の校舎は危険性があるとして、中学生が小学校の校舎を利用して現在の現状である。今後の計画をたずねる。

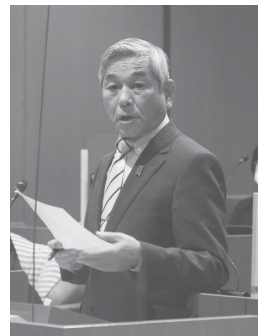
②利活用は、まず廃校とし公有財産利活用検討委員会で方針を検討後、地域と協議を始める。真鍋中学校については、生徒が卒業し、廃校としてから検討する。

議員 ①スクールボートでの通学は、児童の心身への負担も多く、台風等のオンライン授業に問題がある地域、保護者の負担もある。保護者・学校・教育委員会が一堂に会する話し合いの場を持つてほしい。

教育長 ①笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画に基づき、やり切ることが重要と考えている。中学校の再開は考えていない。白石小学校の保護者には、通学方法を理解いただき、神島外小学校を通学先に決めている。現実的に言えば再開は厳しいと考えている。

教育部長 真鍋中学校は、予算の関係もあるので、多くの意見を聞いて判断していく。

②学校として使う望みがないなら利活用について早い検討を望む。真鍋中学校は、観光資源として残す考えはあるのか。



ふじいよしあき 藤井義明議員

「市長に、振り回された」

議員 城見学区で、なぜ施設一体型小中一貫教育校開設の賛否を聞くアンケートをとったのか。

教育長 反対の方が多かったため、市長発言により賛否のアンケートをとった。

議員 金浦中学校ブロックが、一体型一貫校で開設するということがいつ決まったのか。

教育長 令和2年3月末に決定した。

議員 賛否をたずねる前に決定していたのであれば、住民アンケートを行う必要はなかったのではないか。

教育長 新しい教育の環境を作っていく。

情報管理適正化委員会？



議員 本年11月の広報かさおかに、「証言により執行部に情報を隠すような事実がなかったことが判明した。」と書いているが、監査報告にも、百条委員会の報告書にも隠した事実が確認できたと書かれている。なぜ事実と違うことが書けるのかたずねる。

政策部長 事実関係に基づいて書いている。

議員 市長の行政運営について①自分は特別な人間で偉い人②自分は全て正しい③単純思考だけで生きていて、あなたの行動や意見は私の考えに反するので間違っていると考え④記録もストーリーも変え自分を正当化し、決して間違いを認めないし謝らない⑤相手の気持ちを考えることはない。